



# 日本バイ・デジタルオーリングテスト 医学会ニュース

No.15 2003年11月1日発行

〒830-0018 福岡県久留米市通町 111-18 北島ビル 302号

TEL:0942(38)4181 FAX:0942(37)4131 e-mail: info@bdort.net

URL: <http://bdort.net>

## ◎ 第19回国際鍼・電気治療学会報告

第19回国際鍼・電気治療学会（19th Annual International Symposium on Acupuncture, Electro-therapeutics & Bi-Digital O-Ring Test）が、2003年10月16日（木）～10月19日（日）まで、New York の Columbia 大学で開催されました。日本からも、下津浦康裕先生、堀内信子先生、竹谷徳雄先生、麻生智洋先生、今井浩之先生、戸田克弘先生、金谷昌幸先生が参加されました。鍼、電気治療、バイ・デジタルオーリングテストについて活発な討議、デモンストレーション等が行われました。



下津浦康裕先生の発表



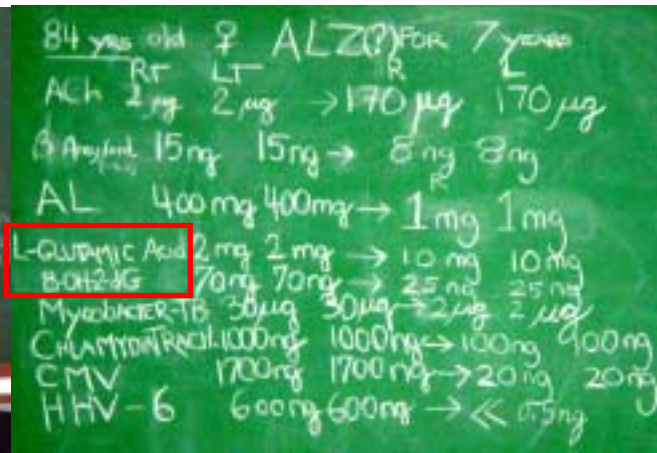
戸田克弘先生の発表



竹谷徳雄先生の発表



堀内信子先生の発表



アルツハイマー病のパラメーターの変化



Dr. Daniel Goal  
による Dental  
Occlusal  
Adjustment の  
デモンストレーション



Dr.Yemen Cheng の講演



Dr. Xiao Ding Cao の講演



Dr. Edward Spiegel の講演



Dr.Pan Nien Chung の講演



Prof. Dominic Lee の講演



Dr. Ki Ho Kim の講演



※ 癌の screening は、体の裏側から手の裏側、首、low back, お尻、大腿部にレーザーを当てて、調べることも加えてありました。

大村恵昭先生の講演と癌のスクリーニング



写真のように大腿部が-2の時でも、anus が-6のケースがあったので、見逃さないようにお尻にもレーザーを照射して調べるようにしたようです。また、写真のようにパンツ及びそのラベルの部分が悪い人の場合は、なかなか腰の部分だけよくならなかったの、パンツを変えたらよくなかったケースです。



また、乳癌の患者で通常の癌のスクリーニングでは、手の反応が－1になり、いろいろ調べたら、パンティーが悪いことになり、パンティーを脱いでもらって調べたら、－6の反応になったケースがありました。パンティーをはかずに、手で持ってもらっただけで、－1になったので、患者さんが身につけているものにも注意を払う必要があるようです。

※NYでは、大村恵昭先生が、癌、アルツハイマー病、心臓病等の各種疾患に遺伝子の変異のマーカーである 8-OH-2-dG (8-OH-dG) を調べてありましたし、アルツハイマー病の研究では、L-Glutamic Acid の低い方 (10mg 以下) になるかどうかで、アルツハイマー病の進行度を調べてありました。

来年の第 20 回国際鍼・電気治療学会は、2004 年 10 月 14 日 (木) から 17 日 (日) と NY の Columbia 大学で開催されます。

来年は、日本でも 8 月に第 6 回バイ・デジタルオーリングテスト国際シンポジウムが開催されますから、日本の国際シンポジウムの発表準備もしていただくと同時に、NY でも御発表してくだされば幸いです。

今年の第 19 回国際鍼・電気治療学会から、認定医で NY で発表された先生には F.I.C.A.E. (Fellow of the International College of Acupuncture & Electro-therapeutics) の称号を大村恵昭先生が下さるようになったので、認定医の先生は、是非、NY の会に参加して、発表されることをお勧めします。